

シンポ株式会社

第 53 期定時株主総会

2023 年 9 月 22 日

第 53 期定時株主総会質疑応答

当社株主総会において当日株主の皆様から頂戴したご質問と、当社からの回答の要旨を記載しております。

質問 1

第 52 期と比較した第 53 期の売上高増加率は 2.9%、営業利益は同 7.9%、経常利益は同 7.4%であるのに対して、親会社株主に帰属する当期純利益の増加率は 28.3%と大きな値になっているのは何故か。その要因を教えてください。

回答者

田口執行役員（本株主総会決議をもって取締役就任）

回答

第 52 期は特殊要因として、第 51 期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役 3 名に対する役員退職慰労金を支給し、118,685 千円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益を押し下げる要因となっておりました。

なお、この役員退職慰労金の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益の増加率は 4.9%となります。

質問 2

招集通知の品目別売上高によると、第 53 期の製品売上高は第 52 期から 8 百万円しか増加しておらず、販売価格改定などを考慮すると無煙ロースターの販売台数自体は減っているのではないかとと思われるが、今後の販売戦略を教えてください。

回答者

片岡取締役、谷村取締役、安藤代表取締役

回答

（片岡取締役）価格改定等により第 53 期は第 52 期とほぼ同水準の製品売上高を確保したものの、第 53 期の製品販売台数は第 52 期から 15%減少しました。

第 53 期は新型コロナ感染症に対する国の補助金政策を受け、他業態から焼肉店への新規参入による新規顧客が増加したものの、今後は当該補助金政策の終了に伴い新規参入案件の減少が見込まれるため、販売単価を上げる努力をすることで売上高を確保し、販売台数の減少をカバーしてまいります。

(谷村取締役) 潜在的な顧客獲得のため、販売後のメンテナンスのアピールなどで他社からの入れ替え需要を獲得することにより製品売上高を確保してまいります。

(安藤代表取締役) 製品付加価値を高め、全社一丸で製品をはじめとする売上高の獲得に努力してまいります。また、利益率の高い海外での製品販売を強化してまいります。

質問 3

現在と今後の海外展開について教えてほしい。

回答者

安藤代表取締役

回答

第 53 期における海外売上高は連結売上高の約 10%となっております。

今後は順調な販売が見込まれる香港や台湾を中心に販売を強化し、その他の地域については、経済状況、人口、出生率、宗教等を勘案しながら海外への販売を強化してまいります。

質問 4

貸借対照表を見ると現預金が 28 億円計上されており、財務状況は非常に安定していることがわかる。一方で、この現預金 28 億円を有効に活用していくことが必要と思われるが、今後どのように活用していくのか方針を教えてほしい。

回答者

安藤代表取締役

回答

成長戦略、人材育成に資金を投資してまいります。

その成長戦略として、まずはアミレンタル事業を強化するため名古屋アミ洗淨工場建設に投資いたします。詳細につきましては株主総会後の山田取締役によるプレゼンで説明いたします。

(名古屋アミ洗淨工場建設の詳細は弊社ホームページをご覧ください (IR 情報→IR ニュース→2023.9.25「第 53 期定時株主総会 アミ洗淨事業プレゼン資料について」)